

2021年8月27日
東北電力株式会社

東通原子力発電所における固体廃棄物貯蔵所の貯蔵容量の増強について

1. 放射性固体廃棄物の保管状況

東通原子力発電所では、点検等により発生した布・紙・ゴム手袋等の放射性固体廃棄物を200リットルドラム缶に詰め、固体廃棄物貯蔵所（以下、「貯蔵所」という）（添付図 参照）に保管しております。

放射性固体廃棄物は、貯蔵所の貯蔵容量18,360本（ドラム缶相当）に対し、2021年6月末時点における保管数は14,436本（ドラム缶相当）となっております。

2. 放射性固体廃棄物の発生状況

放射性固体廃棄物の発生量については、設備の維持点検等により継続的に発生するため、様々な廃棄物低減の取り組みを継続的に実施し、増加をできる限り低く抑えるように努めております。

しかしながら、これまでの発生実績を踏まえると、数年後には保管容量に達する見込みであります。

3. 今後の対応

廃棄物発生量低減の取り組みを継続して実施するとともに、廃棄物の保管量が貯蔵所の保管容量に達するまでに、貯蔵容量増強を検討中であります。

以上

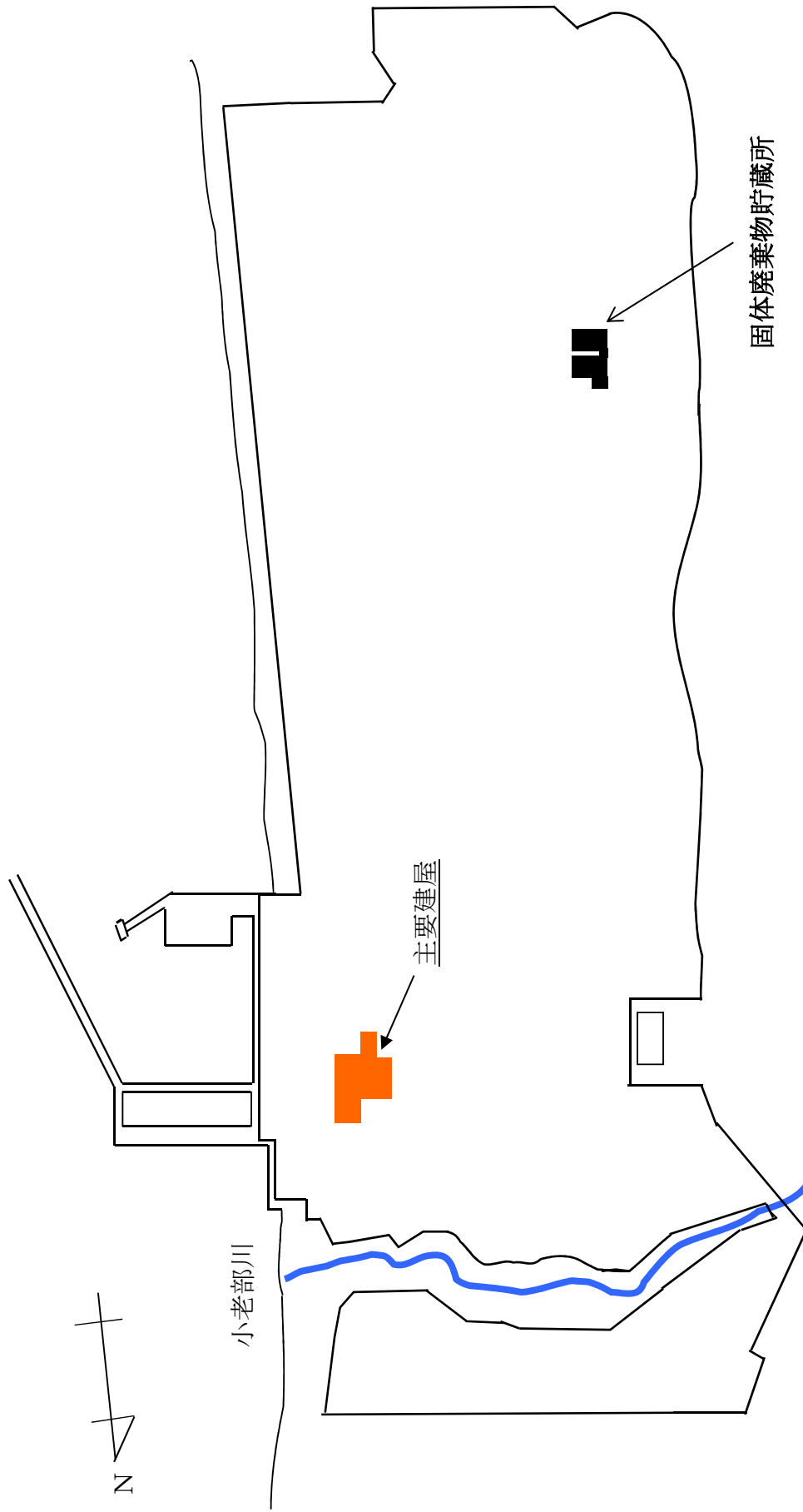


図 東通原子力発電所 固体廃棄物貯蔵所設置場所